

所 属	清流の国推進部スポーツ推進課	27年度担当所属名		
係 名	トップスポーツ係	内線	2950	清流の国推進部競技スポーツ課

## 新 2020年東京オリンピック等に向けた選手強化

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
53,656	一般財源 53,656	交付金 39,100
(前年度 0)		委託料 4,860

### 2 背景・現状

ぎふ清流国体の成功や2020年東京オリンピックの開催決定を受け、スポーツへの関心や期待が高まる中、オリンピック等の国際的な舞台で活躍する選手を一人でも多く輩出するため、本県の競技力を更に向上させる必要がある。

### 3 事業目的

オリンピックの舞台に出場した本県ゆかりの選手は、2012年ロンドン大会で14名、2014年ソチ冬季大会では2名である。今後の目標として、2016年リオ大会で20名、2018年平昌<sup>ピョンチャン</sup>冬季大会で5名、東京大会で30名の出場を目指し、競技力向上に取り組む。

### 4 事業概要

#### (1) オリンピックアスリート強化支援事業費 (40,856 千円)

東京オリンピック等で活躍できるアスリートを指定し、遠征や強化合宿等にかかる経費のほか、栄養補助食品の購入等にかかる経費に対し助成

#### (2) ジュニアアスリート発掘・育成事業費 (12,800 千円)

ジュニア世代を対象とした運動能力測定会により優秀な人材を発掘し、発掘した人材に対し複数競技種目の体験を行うなど、独自プログラムによる一貫した育成・強化を実施

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名) ○スポーツ振興費	オリンピックアスリート強化支援事業費	ジュニアアスリート発掘・育成事業費

所 属	清流の国推進部スポーツ推進課			27年度担当所属名
係 名	地域スポーツ係	内線	2953	清流の国推進部競技スポーツ課

## 2020年東京パラリンピック等に向けた 障がい者スポーツの競技力向上

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
20,700	一般財源 20,700	交付金 10,423
(前年度 3,700)		補助金 9,100

### 2 背景・現状

ぎふ清流大会の成功や2020年東京パラリンピックの開催決定を受け、障がい者スポーツへの関心や期待が高まる中、パラリンピック等の国際的な舞台で活躍する選手を一人でも多く輩出するため、本県の競技力を更に向上させる必要がある。

### 3 事業目的

有力アスリートに対する支援や競技団体設立支援を行い、パラリンピック等の国際的な舞台で活躍できる選手の輩出と継続的な競技力向上を目指す。

### 4 事業概要

#### 新 (1) パラリンピックアスリート強化支援事業費 (11,600 千円)

東京パラリンピック等への出場が有力視される選手やチームを指定し、遠征や強化合宿等にかかる経費のほか、栄養補助食品の購入等にかかる経費に対し助成

#### (2) 障がい者アスリート育成支援費補助金 (7,700 千円)

将来の強化指定選手を育成するため、世界大会等に出場する選手の遠征や強化練習、競技用具購入等にかかる経費に対し助成

#### 新 (3) 障がい者スポーツ競技団体育成支援事業費補助金 (1,400 千円)

2020年東京パラリンピックに向け、効果的な選手強化を行うため、パラリンピック競技の県内競技団体等の設立にかかる経費に対し助成

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名) ○スポーツ振興費		
	パラリンピックアスリート強化支援事業費	
	障がい者アスリート育成支援費補助金	
	障がい者スポーツ競技団体育成支援事業費補助金	

所 属	清流の国推進部スポーツ推進課			27年度担当所属名
係 名	トップスポーツ係	内線	2950	清流の国推進部地域スポーツ課、 競技スポーツ課

## スポーツ科学センターによる競技力向上

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
158,363	一般財源 158,363	委託料 96,001
(前年度 91,141)		備品購入費 52,900

### 2 背景・現状

ぎふ清流国体の成功や2020年東京オリンピックの開催決定を受け、スポーツへの関心や期待が高まる中、オリンピック等の国際的な舞台で活躍する選手を一人でも多く輩出するため、本県の競技力を更に向上させる必要がある。

### 3 事業目的

長良川スポーツプラザ内に「スポーツ科学センター」を設置し、これまで「スポーツ科学トレーニングセンター」で行ってきた科学的サポート機能を強化するとともに、ジュニア世代の発掘・育成や指導者育成事業を新たに加えた多面的な支援を行い、オリンピック等の国際的な舞台で活躍できる選手の輩出と継続的な競技力向上を目指す。

### 4 事業概要

#### (1) アスリートへの科学サポート (144,041 千円)

測定機器等の整備を行い、運動能力調査や動作分析、最新の知見や情報をもとにした効果的なトレーニング方法の提案など、アスリートに対する科学的サポートを強化

#### 新 (2) ジュニアアスリート発掘・育成事業費 (12,800 千円) 【再掲】

ジュニア世代を対象とした運動能力測定会により優秀な人材を発掘し、発掘した人材に対し複数競技種目の体験を行うなど、独自プログラムによる一貫した育成・強化を実施

#### 新 (3) 指導者育成・研修事業費 (522 千円)

科学的サポートを活用したトレーニング方法等に関する指導者研修会の開催

#### 新 (4) アスリート・ナビゲーション事業費 (1,000 千円)

アスリートの経済基盤安定化のため、企業や経済団体とのマッチングの機会を創出し、アスリートの就業を支援

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名) ○スポーツ施設費		
	岐阜メモリアルセンター備品等整備費の内数	
	岐阜メモリアルセンター等施設管理費の内数	
	○スポーツ振興費	
	ジュニアアスリート発掘・育成事業費 【再掲】	
	指導者育成・研修事業費	
	アスリート・ナビゲーション事業費	

所 属	清流の国推進部スポーツ推進課			27 年度担当所属名
係 名	スポーツ交流係	内線	2948	清流の国推進部地域スポーツ課

## スポーツコミッションの推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
95,400	一般財源 95,400	補助金 79,000
(前年度 75,000)		委託費 4,101

### 2 背景・現状

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の成功や2020年東京オリンピック・パラリンピック開催決定による地元地域のにぎわいの創出など、スポーツの持つ力が注目されており、この機を捉え、スポーツによる地域活性化を推進する必要がある。

### 3 事業目的

スポーツコミッションによる誘致活動を活発化させ、国内外のトップアスリートによる合宿利用を促進することで県内スポーツ施設のブランド価値を高め、“スポーツの聖地”づくりを進めるとともに、国際・全国規模のスポーツイベントを誘致・開催し、交流人口の拡大や地域住民のスポーツ参加による地域活性化を図る。

### 4 事業概要

#### (1) 国内外のトップアスリートによる合宿誘致

##### 新 ①海外トップアスリート事前合宿誘致事業費 (4,000 千円)

世界陸上北京大会に出場する海外トップアスリートの事前合宿に係るトレーニング環境及び宿泊環境を整備

##### ②スポーツコミッション合宿誘致推進事業費補助金 (27,000 千円)

県内施設を活用した合宿に参加する選手等の宿泊費等の一部を補助

##### ③飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア活用事業費 (4,800 千円)

同エリアの活用を促進するため、国内外へのPRや誘致活動を展開

#### (2) 国際・全国規模のスポーツイベント誘致開催による地域活性化

##### ①スポーツコミッション活動推進費 (7,600 千円)

2020年東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿誘致やスポーツイベントの誘致、スポーツツーリズム推進に係る活動費

##### ②スポーツのまちづくり支援補助金 (52,000 千円)

市町村や競技団体等が行う国際・全国規模のスポーツイベントや住民参加型スポーツ行事の開催を支援

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (4) スポーツ振興対策費
(明細書事業名) ○スポーツ振興費		
	海外トップアスリート事前合宿誘致事業費	
	スポーツコミッション合宿誘致推進事業費補助金	
	飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア活用事業費	
	スポーツコミッション活動推進費	
	スポーツのまちづくり支援補助金	

所 属	清流の国推進部清流の国づくり政策課			27 年度担当所属名
係 名	全国レクリエーション大会企画係	内線	2058	
所 属	清流の国推進部スポーツ推進課			清流の国推進部
係 名	地域スポーツ係	内線	2953	地域スポーツ課

## 全国レクリエーション大会の開催準備

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
28,123	一般財源 28,123	委託料 14,123
(前年度 18,844)		負担金 13,483

### 2 背景・現状

ぎふ清流国体・ぎふ清流大会の開催を契機に高まったスポーツや健康づくりへの関心を継続・発展させるため、子どもから大人まで誰もが生涯を通じて楽しめるレクリエーションの推進に取り組んでいる中、平成28年9月に本県初となる全国レクリエーション大会の開催が決定した。

### 3 事業目的

レクリエーションや健康づくりを通じた地域の活性化につなげるため、大会に向けた準備を行うとともに、レクリエーションの更なる普及拡大を推進する。

### 4 事業概要

#### (1) 全国大会1年前イベントの開催と全国大会の準備 (14,000千円)

全国大会1年前にあたる本年秋にレクリエーションの種目大会や誰もが参加できる体験イベントを開催し、大会への機運の醸成を図るとともに、県民がレクリエーションに触れ親しむ機会を提供する。

#### (2) 全国大会やその後を見据えたレクリエーションの更なる普及拡大 (14,123千円)

レクリエーションの県民各層への普及拡大を図るため、各圏域において講習会等を開催する。

#### 新 ① 高齢者向けレクリエーション講習会の開催

② 特別支援学校等における障がい者向けレクリエーション講習会等の開催

③ 親子で参加する子ども向けレクリエーション講習会の開催

④ 中高年向けレクリエーション講習会等の開催

(款) 2 総務費 (項) 2 企画開発費 (目) (4) スポーツ振興対策費 (明細書事業名) ○スポーツ振興費 全国レクリエーション大会開催準備事業費 高齢者レクリエーションスポーツ支援事業費 特別支援学校へのレクリエーションスポーツ推進事業費 幼児の体力向上支援事業費 レクリエーションスポーツ健康づくり支援事業費
--

所 属	清流の国推進部清流の国づくり政策課		
係 名	まちづくり支援・移住定住係	内線	2055

## 移住定住プロジェクトの推進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
30,293 (前年度 7,800)	一般財源 30,293	委託料 19,150 補助金 5,000

### 2 背景・現状

県では、平成21年度から移住定住対策に取り組み、本県への移住者が多い名古屋圏を中心に魅力を発信してきた。今後は、地方暮らしに関心が高いとされる首都圏においても効果的なPRを実施するとともに、受入地域とのきめ細かいマッチング支援を行っていく必要がある。

### 3 事業目的

「地域の将来を支える人を呼び込む」という視点に立ち、都市部に向けて本県の魅力や地域情報を発信し、移住希望者の相談対応から本県に移住して実際に生活するまで、一貫した支援を実施することで本県への移住定住を促進する。

### 4 事業概要

#### (1) 都市部に向けた移住定住の情報発信 (23,826 千円)

##### 新① 「清流の国ぎふ暮らしアカデミー (仮称)」の開講

都市住民向けに、移住に関するセミナーやイベント等を開催し、岐阜県のライフスタイルを学ぶ機会を提供する。

##### ② 多様な情報発信機会の創出

全国組織や近隣県等と連携した総合相談会やセミナーを開催するほか、都市部に向けたPRツールを作成する。

#### (2) 地域のニーズに対応した移住者受入体制の構築 (6,467 千円)

##### 新① 空き家等を活用した「二地域居住」等の推進

移住者の幅広いニーズに対応するため、市町村等の、空き家を活用した二地域居住等推進の取組みを支援する。

##### ② 地域の受入体制の強化

移住実践者による相互交流や市町村、地域のキーパーソン向けの研修・情報交換を実施する。

(款) 2 総務費	(項) 2 企画開発費	(目) (3) 地域振興対策費
(明細書事業名) ○地域活性化対策費	移住定住プロジェクト推進費	